

さつまいも農家の皆様へ

ほ場を見回り、株の基部が黒い場合は、早急に抜き取って、ほ場の外へ持ち出して下さい。

【基腐病の症状】周囲の株と比べ、しおれている。株全体が赤変、黄変する。



基部が黒変



露地では、茎の途中からも黒変

・通路まで茎が覆うと、しおれにくい。
・葉色と、株基部や茎の途中の黒変で判断する。



【基腐病以外の病害(つる割病)の症状】



- ・茎が縦に裂けたり，空洞となる。
- ・基腐病と併発することもある。
- ・つる割病も土壌伝染するため，抜き取る。

【生理的な症状】



下葉は枯れているが，基部は黒変していない

【排水対策・残さいもの処理】

<排水状況の確認>



<野良いも除去>



- ・さつまいも基腐病が発生しているほ場があります。
- ・ほ場を巡回し，発病株をただちに抜き取ってください。
- ・発病株の抜き取り後は，ほ植を行わないでください。
- ・定植5週目にアミスターを，その後はZボルドーと交互に散布して下さい。
アミスター20フロアブル：2000倍，収穫14日前まで，使用回数3回まで
Zボルドー水和剤：500倍，収穫前日まで，散布回数制限なし
- ・降雨直後に，ほ場を巡回し，排水状況を確認して下さい。
- ・ほ場内と周辺に野良いもが発生しています。イモごと抜き取って下さい。

【基腐病対策】 ①早めの抜き取り ②排水対策 ③殺菌剤散布